

課題名 外来腹膜透析患者における腹膜透析関連感染症の実態と要因

～適切な看護介入を目指して～

【研究責任者】

外来 看護師 吉本 桐子

【研究の目的】

高齢化や地域包括ケアシステム推進の社会背景から、在宅治療である腹膜透析（以下PDと称す）の普及が期待される。慢性透析療法を受けている患者のうち、統計上PD患者は増える傾向にあり、PD関連感染症になるリスクも高まり、感染対策を講じる必要がある。PD患者において腹膜炎は、除水能の低下や腹膜機能障害をきたし、カテーテル抜去や血液透析移行、被嚢性腹膜硬化症への進展、死亡の原因となるため、予防・早期治療が重要である。患者の生活背景や療養環境が腹膜透析関連感染症に与える影響については十分明らかになっていない。よって、本研究は外来PD患者における腹膜透析関連感染症の実態と関連要因を明らかにし、今後の適切な看護介入への示唆を得ることを目的に取り組むこととした。

【研究の期間】

実施許可願承認後～2027年2月28日

【研究の方法】

対象者：外来でPD治療継続の患者 15名

研究方法：症例研究

- 1) 15名のPD開始期間は異なるが、各患者について、2024年4月1日から2026年3月31日までの過去2年間の診療録から情報収集する。
- 2) 調査データにより、グラフ・図・分析を行う。

【倫理審査 委員会承認日】

2026年7月15日

【倫理審査 院長承認日】

2026年7月21日

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

なし

◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構柳井医療センター

〒742-1352 山口県柳井市伊保庄 95

TEL(0820)27-0211(代)

研究責任者 看護師 吉本 桐子